



池の子通信

～あいさつで笑顔あふれる みんな仲よし池田小～

かしこく なかよく げんきよく
あいさつ へんじ せいりせいとん

3学期がスタートしました！



○新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

○皆様、どのような年末年始を過ごされたでしょうか。1年の大きな節目の時に、ご家族お揃いで気持ちも新たに新年を迎えられたことと推察いたします。

○今年は「寅年」です。「寅」はもともと「演」が由来といわれ、「人の前に立つ」、「演」と同じ読みの「延（えん）」から「延ばす・成長する」という意味をもっているそうです。したがって、十二支でいうと「寅年」、十干（じっかん）では「壬」となり、干支で言うと「壬寅（みずのえとら）」の今年は、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長する」といった縁起の良さを表していると考えられているそうです。



○さて、3学期の始業式も一人一台端末（クロームブック）のMeet機能を活用して行いました。まずは、「いけだの冬休み」の反省を、アンケート機能を使って行いました。回答は「よくできた・できた・もうすこし」の3段階です。400名を超える児童の回答が一瞬で明らかになるので、非常に便利な機能です。全校の結果は以下の通りです。（一人一人がどのような回答をしたのかは、ぜひお子さんに聞いてみてください！）各ご家庭のご協力により充実した冬休みだった様子が伺えます。ありがとうございました。

「い」命を大切にしましょう → よくできた：93.9%
「け」計画的に過ごしましょう → よくできた：62.8%（できた：32.2%）
「だ」楽しく過ごしましょう → よくできた：92.0%

○続いて、「かしこく なかよく げんきよく」を達成するために特に今学期力を入れて頑張ってもらいたいこと、そして引き続き「あいさつ 返事 整理整頓（特に‘心’を整えること）」を意識して毎日を過ごすことについて話をしました。その中でも、今回私が特に強調したのが『なかよく』と『心を整える』ことです。以下に示す【思いやり算】の話をしました。感染症対策で、まだ距離をとらなければならない状況が続く今だからこそ、こういった気持ちを大切に過ごしてほしいという願いを込めました。

【思いやり算】とは … 人を笑顔にする算数のこと
+ → たすけ合うと、大きな力になります。
- → ひき受けると、喜びが生まれます。
× → 声をかけると、一つになれます。
÷ → いたわると、笑顔がかえってきます。



○その後、今回は1年生、2年生、かわせみ、6年生の代表のお友達が3学期の抱負を発表してくれました。4人とも、意欲をもって一生懸命3学期を過ごしていこうとする強い気持ちがしっかりと表れていました。

○さらにその後、2校時には6年生の学年集会で話をする機会をいただきました。寒い体育館でしたが、ピンと張り詰めた空気が漂い、一人一人の表情から卒業に向けての新たな決意を感じました。

○さあ、3学期が始まって1週間が経ちました。授業日数は50日（6年生は49日）です。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われているように、あっという間に過ぎてしまいます。しかし、どの学年も卒業、進級と次の学年に繋げていく大事な要素がたくさん詰まっている学期でもあります。子どもたちにとって心に深く刻まれる価値ある経験や体験を積み重ねながら、この学年でかけがえのない思い出を創り上げていってほしいと願っています。そのために、私たち教職員一同、気持ちも新たに頑張っていく予定です。保護者の皆様、地域の皆様には、旧年にも増してご理解とご支援を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。

2月の生活目標は
これになります！



外で元気よく遊びましょう！

- 始業式の話の続きです。「かしこく なかよく げんきよく」の『げんきよく』は『健康になろうとする子ども』を目指しています。『健康』は人間が生きていく上で最も大切にしなければならないことです。
- 『げんきよく』過ごすために特に大切にしてほしいこととして私が話したのは、一つは、「感染症対策をこれまでと同じようにしっかりやっていくこと」、もう一つは「外で元気よく遊ぶこと」です。遊びの中には、健康面も含めて体力を向上させるための要素、道徳性を養うための要素、社会性を育むための要素…等々、子どもたちが大人になっていく上で学ぶべき大事な要素がたくさん含まれています。
- こうした子どもたちの遊びの大切さについては、山梨大学理事・副学長の中村和彦先生が以前から提唱しています。実は、私の大学時代の先輩ということもありますが、仕事の関係でこれまで幾度となくお話を聞く機会をいただきました。その中で特に興味深かった話が2つあります。
- 一つは「運動の持ち越し効果」です。これは、体力的な側面から見た場合、幼少年期の様々な遊びや運動経験を通じて基本的な動きは獲得され、それが持ち越されて、その後の運動・スポーツ経験に大きな影響を及ぼすものと考えられるそうです。そして、このことが生涯を通じて健康に過ごすということに通じていきます。
- もう一つは、今はその大切な外遊びをするための3つの‘間’がない…3間（サンマ）がないということです。3つの‘間’とは、「遊ぶ時間」「遊ぶ仲間」「遊ぶ場所（空間）」のことです。この3つが現代には欠けているということなのです。
- 幸いにも小学校には「休み時間」があります。この3つの‘間’は確保できます。昨年度から感染症対策の一環として休み時間の校庭使用に制限を設けていますが、たとえ短時間でも、体を思い切り動かすことは大切です。業間休みと昼休み…どちらか必ず休み時間を確保すること、そしてできれば外で遊ぶようにすること（高学年になると委員会や児童会、クラスのこと等で難しいのですが）…を年度初めから呼びかけています。もちろん、遊びの中でも感染症対策はしっかり行っています。
- ご家庭でも「今日、外で遊んだ？」「どんな遊びをした？」等々、「遊び」についても親子で話題にしてみてください。



ボール遊び、なわとび、
鬼ごっこ、遊具…様々な
遊びを楽しんでいます。



ここ最近、コロナの感染者が再び増えてきています。学校ではこれまでと同様、一つ一つの対策をこれまで通りにきちんと行うことを徹底しています。保護者の皆様にも、毎日の健康観察につきましてはお手数をおかけしていますが、引き続きご協力をお願いいたします。なお、感染症に係って心配なこと等ありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

*カラー版をホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

